

パブリック・コメントに寄せられた意見等については、次の検討区分により整理し、検討結果(対応等)をとりまとめました。

募集期間：平成 18 年 12 月 15 日から平成 19 年 1 月 15 日

(1) 計画案に寄せられた意見等への対応の区分と件数

区分	計画案に寄せられた意見等への対応	件 数
1	意見等の趣旨に沿い計画案を修正する	0
2	意見等の趣旨に沿い取り組む	11
3	意見等の趣旨に沿えない	0
4	その他	13

(2) 計画案に寄せられた意見等への対応(パブリック・コメント)

項 目	意見・要望(要旨)	区分	検討結果(対応等)
主要事業 1 について	・券売機は、駅務員と最も連絡しやすい位置が良い。	4	・主要事業 1 への意見・要望については、鉄道事業者に対して検討を要請していきます。
	・だれでもトイレは管理が行き届きやすい改札階へ設置し、介護ベッドやオストメイトを設置すること。	4	
	・バリアフリー経路の確保は、小さな段差解消も含めて総合的な対応をすること。	4	
	・車椅子の経路に自転車や物を放置しない旨、協力依頼の表示板を設置すること。	4	
主要事業 2 及び 3 について	・国道 246 号及び環状 6 号線の横断環境をバリアフリー化するにあたり、電動車椅子や歩行速度の遅い幼児や高齢者が安心して通行できるように設計すること。	2	・幹線道路の横断環境や歩行環境については、関係事業者との連携によりバリアフリー化に努めていきます。
	・歩道、横断歩道、中央分離帯は、十分な幅や広さを確保すること。	2	
	・視覚障害者が歩車境界を認識しやすいよう工夫すること。	2	
	・雨で滑りにくい路面にし、タイル埋め込みの場合はでこぼこを小さくすること。	2	・路面、案内板等については、バリアフリーデザインを考慮して、利用しやすいものにしていきます。
	・歩道に設置される案内板等は、車椅子から見やすい高さで大きさ、わかりやすい内容にすること。	2	
	・東邦大学医療センター大橋病院への経路は、車椅子での通行が難しい坂道なため、地域医療機関という事情を鑑み、エレベーター等による段差解消を検討してください。	4	

主要事業4について	・目黒川沿いは、路面が凸凹して車椅子のハンドルがとられたり、橋ごとに大きな起伏があって快適でないため、だれもが楽しめる散策路に整備すること。	2	・沿川道路につきましては、平坦性を考慮して快適に散策できるように改善します。
	・東山地域では、木陰が少ないため猛暑日などは歩きづらいため、所々に木蔭スポットを設置すること。	4	・東山公園周辺道路の歩行空間を整備する際に、歩道植栽帯を見直ししていきます。
	・スロープの入り口には、車椅子から見やすい高さに案内板を置き、どこに通じるスロープなのかを表示すること。	4	・案内表示の位置や内容については、今後検討していきます。
	・車椅子が曲がる場所は水平にし、勾配は直進経路のみつけること。	4	・スロープの勾配改善については、現地の状況を考慮して検討します。
主要事業5について	・2段式駐輪場は、女性や子どもにとって使いづらいため、平置きかそれに近いものにする。	4	・用地の制約から2段式駐輪場は必要と考えております。今後、使いやすい駐輪場の設置を検討していきます。
	・短時間の利用もできる駐輪場を設置すること。	4	・短時間の利用が可能となる駐輪場については、検討していきます。
主要事業6について	・案内板は、位置、目的施設、距離、方角などがわかるように、図・写真や文字・点字などの複数情報で表示すること。	2	・案内板の設置につきましては、だれもがわかりやすく、複数情報で表示していきます。
	・案内板設置にあたり、障害者や高齢者などから感想や意見を聞くこと。	2	・設置にあたり、障害者や高齢者をはじめ様々な方から意見を求めていきます。
主要事業7について	・再開発ビルには、雨に当たらずに館内に入出入り出来るような場所に駐車場を設置すること。	2	・再開発ビルには、地下に駐車場を設置しますので、雨に当たらずに館内に入出入りが可能です。
	・再開発ビル9階には、介護ベッド付きトイレを設置し、休憩空間を十分に取る。	2	・再開発ビルの公共施設は、ユニバーサルデザインを考慮して施設整備を行います。
	・東山公園には、介護付きトイレを設置すること。車椅子の目線の高さで楽しめる植栽を設置すること。	4	・東山公園の拡張整備につきましては、平成19年2月から基本構想の検討を始めます。検討にあたり、ワークショップやアンケート調査等を行い、関係町会等と検討の仕組みをつくり、まとめていきます。

その他	・東山住区センターや東山社会教育館をバリアフリー化すること。館内のバリアフリー経路の確保、介護ベッド付きトイレの設置、車椅子の高さに合わせられるテーブル等を導入すること。	2	・東山住区センターにつきましては、実施計画事業として位置づけてバリアフリー化等の改修を行っていきます。
		4	・東山社会教育館のバリアフリー化につきましては、今後の施設改修の際に検討していきます。
	・『だれでも・・・』設備の予算化にあたっては、例えば東急電鉄の各駅にエレベーターを設置する場合に、健康福祉部（障害福祉課）の予算を当ててきたが、設置目的と利用状況の実態を踏まえ、他の部署も負担をすること。	4	・区のバリアフリー関連予算につきましては、計画上の目的を踏まえ、事業を実施する関係部局が執行いたします。